

Web配信を初めて実施

「令和2年度通常総会」開催

J E A S

日本万引防止システム協会（東京都新宿区、Tel. 03・3365・2322、以下、J E A S）は、6月4日に東京・千代田区の主婦会館プラザエフで、「令和2年度通常総会」を実施。新型コロナウイルス感染症対策として、出席者を限定して開催するとともに、J E A S

初の試みとなる双方向型のWeb配信（テレビ会議システム、YouTube）を実施。その結果、海外から参加する動きも見られ、アフターコロナ（A C）時代の総会の在り方を提示する場となった。

今回の通常総会では、参加者全員を対象にフェイスシールドを配布するとともに、J E A S 企業店舗プランニングが販売する体温検知機能付きのI Pカメラで体温確認が行われた。

総会開催にあたり、J E A S の稲本義範会長が挨拶。初のWeb配信については、「科学技術の進歩のおかげで、専門知識がなくても、本気になれば、皆の力を強く思えば、このような多チャネル、双方向型のオンライン会議が開催できるようになりました。それにより、北は北海道から、南はタイや台湾、東は米国、西は中国からロスプリベーションに関わる方々が参加されています」と言及。



総会で挨拶する稲本会長と配信画面
座席指定で参加者間の距離を確保

昨年来のJ E A S の取り組みについては、「アジア最大の見本市『China Shop 青島2019』の視察と中国防損協会との会合、E A S の安全対策推進の徹底と推奨顔認証システム制度の発表、RFIDセミナー・I O T 機器のセキュリティセミナー・P I A セミナーなどを遅滞なく開催しました。更に、会員の力を結集し、新冊子「人的警備と画像システムの効果的活用」「買い替え促進パンフレット」を世に出しました。4月17日には米国情報と健康衛生の専門家の知見を得て「新型コロナウイルスからお客様と従業員を守るためにすべきこと10項目」を発売し、多くの皆さまに活用頂きました。今後の感染予防に向け、サーモグラフィシステム普及推進プロジェクトを発足させ、サーモグラフィシステムの常設設置に向けての冊子を準備しています」と紹介。そして、E A S 市場の動向については、「昨年10年ぶりに1万5000台を超える出荷数となり、出荷額も前年比8・9%増になりました」と報告した。

参加者に対して「当工業会の使命は、万引犯罪撲滅を目指す唯一のソリューション団体として、『万引犯罪をさせない店舗作り』の推進を通じて、流通業界の健全な経営、また青少年の非行防止・大量窃盗団の阻止・高齢万引き者の未然防止・内部不正対策・ロス対策という経済的・社会的役割を果たすことです。引き続き、皆さまのご支援を頂きながら、この使命を次の時代へ紡いで参ります」と決意を述べた。

その後、稲本会長を議長に選出し、第1号議案「令和元年度事業報告、収支決算の件」、第2号議案「令和2年度組織・人事の件」、第3号議案「令和2年度事業計画、収支予算の件」の順で報告され、出席者の承認を得た。新役員として、理事にヒリオテカ・ジャンの松崎泰二営業部長、監事にMatsuuo Sangyoの森雅裕執行役員統括部長が就任した。